

FIRE CORPS



長生郡市広域市町村圏組合消防団
発足50周年記念誌



長生郡市
広域市町村圏組合
管理者

茂原市長
市原 淳

消防団発足50周年を迎えて

長生郡市広域市町村圏組合消防団が発足50周年を迎えるにあたり、永い歴史を有し、地域防災の要として多大な貢献をされてきた団員の皆様並びにご家族に心より敬意を表し、感謝を申し上げます。

当消防団は、昭和49年4月に7市町村消防団が合併し、団長以下団員数2,497名で発足、現在は1,210名の団員で圏域住民のため日夜活動しております。火災での出動は勿論のこと、当圏域では一宮川などの幾多の水害や千葉県東方沖地震、竜巻などの災害に見舞われており、その度に消防団の皆様が災害・救助活動にいち早く対応いただきました。

昨今の火災や風水害など、多種多様化する災害に対し、圏域住民の安心安全を守るために、消防団が果たす役割は極めて大きく、地域になくてはならない存在であり、消防団は崇高なものです。仕事や家庭を持ちながらも、日々の訓練や防災活動に勤しんでいただいている消防団の存在は、何よりも心強く、圏域住民から寄せられる期待の大きさは言うまでもありません。

経済状況、社会情勢などの激しい変化の中でも、消防団員の処遇改善と併せて、災害に強いまちづくりに向け、地域特性に合わせた防災体制の整備をさらに強化し、圏域住民の皆様と行政との共働による安全で安心なまちづくりを推進してまいります。

結びに、皆様のこれまでのご尽力に対し、改めて感謝申し上げますとともに、今後も、消防団により一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末尾となりましたが、本記念誌の編纂にご協力を賜りました多くの方々に感謝申し上げます。



長生郡市
広域市町村圏組合

消防団長
関野 富男

外房の中核を守る長生郡市消防団

長生郡市広域市町村圏組合消防団発足50周年の節目にあたり、先人の消防団関係者の方々に敬意を表すると共に、心より感謝申し上げます。

長生郡市の広域消防団は、昭和49年4月1日に全国で初めての広域消防団として発足され、地域の防災リーダーとして災害活動だけでなく、火災予防活動や応急手当の普及等と圏域住民の生命、財産を守るため幅広く活動してまいりました。

私たち消防団員が、皆様と共にこの50周年という意義深い節目を迎え、さらに本書が発刊できましたのも、一重に先輩団員諸兄による今日までの不断のご努力とご尽力、そして関係者並びに消防団員を陰で支えてこられましたご家族皆様のご支援の賜物でございます。

さて、広域消防団発足当初は、市町村間の格差や慣例の違い、人事等さまざまな問題を抱えながらも、組織力の向上と連携を図るため、幹部教育及び訓練による強化を進めていたところ、昭和62年12月千葉県東方沖地震をはじめ、平成2年の茂原市竜巻災害、近年では、令和元年、令和5年の豪雨災害と自然災害の猛威にさらされることとなりました。

しかし、そのたびに当消防団は、素早い対応と組織力、自らの被災を顧みず懸命の警戒活動を展開し被害の拡大を最小限に食い止めたことは、個々の団結と使命達成によるもので、災害時の動員力を強く示すことができました。

これまでの伝統ある消防団活動を後世に継承しながら、火災はもとより震災等の大規模災害に備え、消防本部と連携すると共に、行政や圏域住民及び地域の防災関係団体と一体となり、あらゆる災害に向けた訓練の実施や地域の方々に対する防火・防災意識の高揚を図っていくことが重要であると考えます。

結びに、私たち広域消防団は、いかなる災害にも立ち向かい、圏域住民の皆様と信頼に込められる消防団を目指して、さらに訓練に励み一層の努力精進に努める決意でありますので、今後とも皆様方により一層のご指導、ご鞭撻をお願いするとともに、皆様の健康、ご多幸をお祈り申し上げ、広域消防団発足50周年の挨拶とさせていただきます。



千葉県
長生地域振興事務所長
金子 善一

50周年記念のお祝いの言葉

このたび、長生郡市広域市町村圏組合消防団が発足50周年という記念すべき節目を迎えられましたことについて、心よりお祝い申し上げます。

長年にわたり、消防団の皆様が地域の安全・安心を守るために、日夜御尽力されてきたことに、深く敬意を表します。特に、災害時の迅速な対応や、地域行事での防火啓発活動を通じた地域住民の防災意識の向上において、その貢献は計り知れません。

近年、災害の頻発化・激甚化により、地域の防災力強化が喫緊の課題となっている中で、消防団の果たす役割はこれまで以上に重要となっています。千葉県としても、防災県・千葉の確立に向け防災インフラの整備やデジタル技術の活用、防災関係機関との連携強化等により、地域防災力の一層の向上に努めてまいります。

また、消防操法大会等の見直しにより消防団員の負担軽減を図るとともに、若者や女性に向けて消防団の魅力を発信するなど、入団促進に向けた様々な活動を展開してまいります。

改めまして、50周年のお祝いを申し上げますとともに、消防団のますますの御発展と、皆様の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。





長生郡市
広域市町村圏組合
議会 議長
梅澤 哲夫

更なる安心・安全をめざして

長生郡市広域市町村圏組合消防団が発足50周年の節目を迎えられましたことに、長生郡市広域市町村圏組合議会を代表して、心よりお慶び申し上げます。

長生郡市広域市町村圏組合は茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町の1市5町1村で構成されており、一般廃棄物処理・消防・水道・病院・温水センターなど多様な事務事業を実施し、圏域住民14万人の生活を守っています。

ここに記念すべき50周年を迎えられた消防団は、昭和49年に発足し、現在は9支団32分団106部から構成され、圏域住民の安全安心を支え地域防災の要となって活動されています。

発足以来、時代の変化や生活様式の多様化に対応すべく組織や施設設備・装備等の充実により、各種災害に対処できる消防力を備えるよう努められておりますが、少子高齢化など昨今の社会構造の変化や、甚大な被害をもたらす自然災害等により災害も複雑多様化しており、安全で安心な生活を守ることは非常に難しくなっています。

消防団員並びに関係者の皆様方には、圏域住民の生命や財産を各種災害から守り、被害を最小限にとどめるため、本業に加え日夜献身的にご尽力いただいておりますことに心より深く敬意と感謝を申し上げます。

私ども組合議会といたしましても、災害に強い安全で安心なまちづくりのため、消防体制の充実強化により圏域住民の信頼にお応えできるよう、今後とも一層の支援に努める所存であります。

結びに、消防団員皆様方の益々のご活躍とご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

広域消防団50周年にあたり



長生郡市
広域市町村圏組合
消防長
秋葉 和彦

長生郡市広域市町村圏組合消防団発足50周年を心よりお祝い申し上げます。

昭和49年4月に広域消防団として発足してから現在に至るまで、関係各位のご尽力により、充実発展をとげられてきたことに深く敬意と感謝を申し上げます。

近年、大型台風や局地的集中豪雨などの自然災害が猛威を振るい全国各地で甚大な被害が発生しており、当地域でも消防への需要は年々増加してきております。消防といたしましては、地域が一体となった地域防災力の向上を目指し構成市町村及び関係機関との連携を強化し、近い将来に発生が危惧されている南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害に対し、防災・減災対策を積極的に推進してまいります。

地域防災を担う消防は、住民の生命、身体、財産を各種の災害から守るという、崇高な使命を有しております。消防職団員は、消防に課せられた責務の重要性を認識し、消防職団員が一体となり防災の任にあたり14万圏域住民の信頼と負託に応えられるよう、さらなる努力と精進を願うものであります。

結びに本記念誌の発刊を契機とし広域消防団の一層の団結とご活躍をご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

— 管理者・副管理者 —



管理者（茂原市長）
市原 淳



副管理者（一宮町長）
馬淵 昌也



副管理者（睦沢町長）
田中 憲一



副管理者（長生村長）
小高 陽一



副管理者（白子町長）
石井 和芳



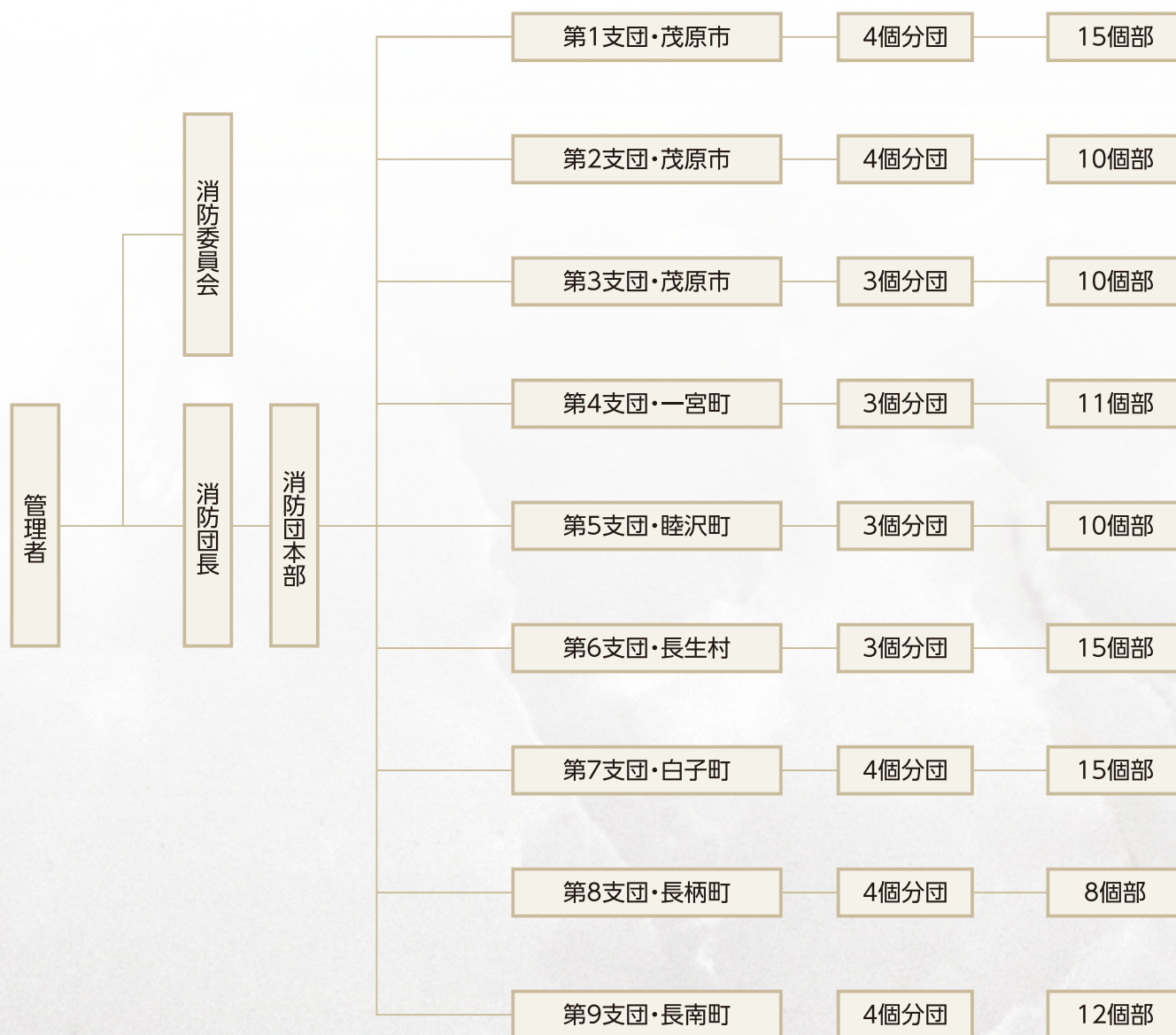
副管理者（長柄町長）
月岡 清孝



副管理者（長南町長）
平野 貞夫

消防団組織図

令和6年4月1日現在



長生郡市広域市町村圏組合消防団の沿革

昭和49年	4月	消防団7市町村合併、(茂原市、一宮町、睦沢村、(58年より町政施行により睦沢町に改める)、長生村、白子町、長柄町、長南町)名称を長生郡市広域市町村圏組合消防団とする。 初代団長に齋藤正義氏(長南町)就任、団員数2,497名。 9個分団・34個部・170個班・ポンプ車26台・小型ポンプ付積載車60台・小型ポンプ82台で発足する。
昭和50年	4月	消防団の機構を改革、9個分団、34個部・167個班・団員数2,467名。
昭和51年	3月	消防本部・消防団に消防庁長官から竿頭授が授与される。
	4月	消防団の機構を改革し、9個分団・34個部・166個班とする。
昭和52年	4月	消防団の機構を改革し、9個分団・34個部・165個班とする。
昭和53年	4月	消防団の機構を改革し、9個分団・32個部・123個班とする。
昭和54年	3月	消防団員数2,291名とする。
昭和55年	11月	消防本部・消防団にサンケイ新聞社から第11回千葉県民の消防員として表彰される。
昭和58年	4月	消防団の機構を改革し、9個分団・32個部・122個班とする。
昭和59年	4月	消防団長齋藤正義氏退任。第二代消防団長荻野締治氏(白子町)就任する。 消防団の機構を改革し、9個分団・32個部・120個班とする。
昭和60年	4月	消防団の機構を改革し、9個分団・32個部・114個班とする。
昭和61年	4月	消防団の機構を改革し、9個分団・32個部・112個班とする。
昭和62年	4月	消防団組織改革により、1団・9個支団・32個分団・112個部となる。 消防団員数1,676名。
昭和63年	4月	消防団組織改革により、1団・9個支団・32個分団・110個部となる。 消防団員数1,651名。
平成元年	3月	消防本部・消防団に消防庁長官から表彰旗が授与される。
	4月	消防団員数1,598名となる。
	11月	元年7月の集中豪雨による茂原市内の洪水に際し、 消防団員第1・2・3支団の災害活動に対し建設大臣より表彰される。
平成2年	4月	消防団長荻野締治氏退任にともない、第三代消防団長林芳男氏(睦沢町)就任。 消防団員数1,585名となる。
	6月	消防団に対し、洪水による水害発生防止及び災害復旧事業促進の功勞により (社)全国防災協会会長より表彰される。
	12月	元年7月の集中豪雨による茂原市内の洪水に際し、 消防団第1・2・3支部の災害活動に対し内閣総理大臣より表彰される。
平成3年	3月	平成2年12月、茂原市の竜巻災害に際し、 消防団第1・2・3支団の災害活動に対し千葉県知事より表彰される。
	4月	消防団員数1,578名となる。
	7月	平成2年12月、茂原市の竜巻災害に際し、 消防団第1・2・3支団の災害活動に対し消防庁長官より表彰される。
	11月	平成2年12月、茂原市の竜巻災害に際し、消防団の活躍に対し、 第22回サンケイ新聞社主催「県民の消防員」として表彰される。
平成4年	4月	消防団長林芳男氏退任にともない、第四代消防団長大多和力氏(茂原市)就任。

平成 6年	4月	消防団組織改革により1団・9個支団・32個分団・108個部となる。 消防団員数1,524名となる。
平成 7年	4月	消防団員数1,491名となる。
平成 8年	4月	消防団長大多和力氏退任にともない、第五代消防団長石井新美氏(長柄町)就任。
	11月	台風17号(9月22日)における消防団の活動に対し、 水防功労者として建設大臣より表彰される。
平成 9年	4月	平成9年度全国水防大会において、消防団長石井新美氏は平成8年度長生郡市の 水防活動について、意見発表する。
	9月	台風17号(平成8年9月22日)における消防団の活動に対し、 防災功労者として内閣総理大臣より表彰される。
平成12年	4月	消防団長石井新美氏退任にともない、第六代消防団長目良和夫氏(茂原市)就任。
平成14年	8月	当組合名誉消防団長(故)齋藤正義氏より指揮広報車1台が寄贈され、 消防団本部へ配置。
平成16年	4月	消防団長目良和夫氏退任にともない、第七代消防団長風間戦一氏(一宮町)就任。
平成20年	4月	消防団長風間戦一氏退任にともない、第八代消防団長廣田元一氏(長南町)就任。
平成23年	2月	(財)日本消防協会より防災広報車1台寄贈され、消防団本部へ配置。
平成24年	4月	消防団長廣田元一氏退任にともない、第九代消防団長小高利広氏(茂原市)就任。
平成26年	2月	台風26号(10月15日、16日)における消防団の活動に対し、 防災功労者として消防庁長官より表彰される。
	3月	消防本部・消防団に消防庁長官から竿頭授が授与される。
	9月	台風26号(平成25年10月15日、16日)における、消防団の活動に対し、 防災功労者として内閣総理大臣より表彰される。
	12月	(財)日本消防協会より防災広報車1台寄贈され、消防団本部へ配置。
	12月	総務省消防庁より救助資器材搭載型消防ポンプ車1台無償貸付され、 第1支団第2分団第2部へ配置。
平成28年	4月	消防団長小高利広氏退任にともない、第十代消防団長鈴木治夫氏(長柄町)就任。
平成30年	4月	消防団長鈴木治夫氏退任にともない、第十一代消防団長小高一夫氏(茂原市)就任。
令和 2年	3月	令和元年10月25日の大雨における、消防団の活動に対し、 防災功労者として消防庁長官より表彰される。
	4月	消防団長小高一夫氏退任にともない、第十二代消防団長長谷川秀一氏(長生村)就任。
	9月	令和元年10月25日の大雨における、消防団の活動に対し、 防災功労者として内閣総理大臣より表彰される。
令和 3年	4月	消防団組織改革により1団・9個支団・32個分団・106個部となる。 消防団員数1,360名となる。
令和 4年	4月	消防団員数1,327名となる。
	4月	消防団長長谷川秀一氏退任にともない、第十三代消防団長田邊茂氏(白子町)就任。
令和 6年	4月	消防団長田邊茂氏退任にともない、第十四代消防団長関野富男氏(睦沢町)就任。
	4月	初の女性消防団員入団となる。
令和 7年	3月	地域住民の安全の保持、向上に顕著な功績があり、全国の模範となる消防団 及び消防団員の確保について、特に力を入れている消防団として消防庁長官より 表彰され全国に紹介される。

歴代消防団長



初代団長 斉藤 正義
昭和49年度～昭和58年度
(長南町岩川)



第二代団長 萩野 締治
昭和59年度～平成元年度
(白子町古所)



第三代団長 林 芳男
平成2年度～平成3年度
(睦沢町上之郷)



第四代団長 大多和 力
平成4年度～平成7年度
(茂原市渋谷)



第五代団長 石井 新美
平成8年度～平成11年度
(長柄町針ヶ谷)



第六代団長 目良 和夫
平成12年度～平成15年度
(茂原市早野)



第七代団長 風間 戦一
平成16年度～平成19年度
(一宮町一宮)



第八代団長 廣田 元一
平成20年度～平成23年度
(長南町水沼)



第九代団長 小高 利広
平成24年度～平成27年度
(茂原市御蔵芝)



第十代団長 鈴木 治夫
平成28年度～平成29年度
(長柄町力丸)



第十一代団長 小高 一夫
平成30年度～令和元年度
(茂原市三ヶ谷)



第十二代団長 長谷川 秀一
令和2年度～令和3年度
(長生村金田)



第十三代団長 田邊 茂
令和4年度～令和5年度
(白子町五井)



— 団本部役員 —



団長

関野 富男
(睦沢町大上)



副団長

城竹 貞治
(長柄町上野)



副団長

小高 一宏
(茂原市千町)



団本部長

布留川 浩一
(茂原市法目)



団副本部長

村杉 貴博
(長生村金田)

各支団役員

第1支団



室川 欣則
(茂原市鷺巣)

支団長

副支団長

支団本部長

支団副本部長

白鳥 宏明

佐々木 武志

第2支団



片岡 祥成
(茂原市千町)

前田 正志

佐藤 渉

岡本 勇司

第3支団



鬼原 正幸
(茂原市下太田)

江澤 俊一

金澤 健一

富田 浩章

第4支団



小関 一真
(一宮町東浪見)

支団長

副支団長

支団本部長

支団副本部長

内山 靖之

井上 敦夫

富塚 義雄

第5支団



石井 充生
(睦沢町妙楽寺)

中村 好宏

今関 拓郎

中村 優

第6支団



御園生 義和
(長生村宮成)

東間 和久

三上 友也

齋藤 宏芳

第7支団



内山 正剛
(白子町牛込)

支団長

副支団長

支団本部長

支団副本部長

酒井 和行

片岡 雄一

梅澤 勇

第8支団



佐々木 隆夫
(長柄町千代丸)

平川 治久

荒井 金也

前橋 佳幸

第9支団



吉野 英樹
(長南町棚毛)

江澤 功

板倉 慶宗

鈴木 陽彦

歴代支団長以上役員

※昭和62年4月に1団・9個支団制となる

所属名	階級名	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度
団本部	団長	斉藤 正義	斉藤 正義	斉藤 正義	斉藤 正義	斉藤 正義	斉藤 正義	斉藤 正義	斉藤 正義	斉藤 正義	斉藤 正義	萩野 締治	萩野 締治	萩野 締治	萩野 締治	萩野 締治	萩野 締治	林 芳男	林 芳男
	副団長	御園 孝雄	御園 孝雄	御園 孝雄	御園 孝雄	御園 孝雄	御園 孝雄	御園 孝雄	御園 孝雄	御園 孝雄	御園 孝雄	林 芳男	林 芳男	林 芳男	林 芳男	林 芳男	林 芳男	大多和 力	大多和 力
	副団長	山田 幸雄	山田 幸雄	白井 博篤	白井 博篤	白井 博篤	白井 博篤	白井 博篤	白井 博篤	渡辺 一雄	渡辺 一雄	星野 光男	星野 光男	星野 光男	星野 光男	星野 光男	星野 光男	田辺 亮司	田辺 亮司
	副団長	常泉 盛徳	常泉 盛徳	岩佐 豊次	岩佐 豊次	渡辺 一雄	渡辺 一雄	渡辺 一雄	渡辺 一雄	鈴木 武	鈴木 武	山田 勝一	山田 勝一	山田 勝一	山田 勝一	山田 毅	山田 毅	山田 毅	山田 毅
副団長（支団長）	第1支団長														高森 恒雄	石渡 喜八	石渡 喜八	石渡 喜八	石渡 喜八
	第2支団長														大多和 力	大多和 力	大多和 力	久保村 憲次	久保村 憲次
	第3支団長														常泉 健一	常泉 健一	常泉 健一	常泉 健一	常泉 健一
	第4支団長														小関 賢十郎	小関 賢十郎	小関 賢十郎	小関 賢十郎	小関 賢十郎
	第5支団長														岡沢 正治	岡沢 正治	岡沢 正治	田中 義光	田中 義光
	第6支団長														片岡 平蔵	木藤 正	木藤 正	矢部 忠雄	矢部 忠雄
	第7支団長														田邊 亮司	御園 忠	御園 忠	御園 忠	御園 忠
	第8支団長														山田 毅	大和久 寛喜	大和久 寛喜	石井 新美	石井 新美
	第9支団長														加藤 元久	加藤 元久	加藤 元久	加藤 元久	加藤 元久

所属名	階級名	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
団本部	団長	大多和 力	大多和 力	大多和 力	大多和 力	石井 新美	石井 新美	石井 新美	石井 新美	目良 和夫	目良 和夫	目良 和夫
	副団長	田辺 亮司	田辺 亮司	常泉 健一	常泉 健一	目良 和夫	目良 和夫	目良 和夫	目良 和夫	風間 戦一	風間 戦一	風間 戦一
	副団長	常泉 健一	常泉 健一	石井 新美	石井 新美	風間 戦一	風間 戦一	風間 戦一	風間 戦一	古市 善輝	古市 善輝	古市 善輝
	本部長	加藤 元久	加藤 元久	目良 和夫	目良 和夫	古市 善輝	古市 善輝	古市 善輝	古市 善輝	廣田 元一	廣田 元一	廣田 元一
副団長（支団長）	第1支団長	目良 和夫	目良 和夫	河野 誠次	河野 誠次	河野 誠次	河野 誠次	武田 俊夫	武田 俊夫	秋葉 光男	秋葉 光男	秋葉 光男
	第2支団長	久保村 憲次	久保村 憲次	久保村 憲次	久保村 憲次	久保村 憲次	久保村 憲次	久保村 憲次	久保村 憲次	吉井 和敏	吉井 和敏	吉井 和敏
	第3支団長	鈴木 幸八郎	鈴木 幸八郎	森田 眞司	森田 眞司	森田 眞司	森田 眞司	小高 利広	小高 利広	小高 利広	小高 利広	小高 利広
	第4支団長	木島 照喜	木島 照喜	風間 戦一	風間 戦一	市原 善一	市原 善一	市原 善一	市原 善一	市原 善一	市原 善一	市原 善一
	第5支団長	田中 義光	田中 義光	中村 良作	中村 良作	齊藤 正實	齊藤 正實	齊藤 正實	齊藤 正實	齊藤 正實	齊藤 正實	吉野 實
	第6支団長	矢部 忠雄	矢部 忠雄	高山 昌治	高山 昌治	高山 昌治	高山 昌治	木島 善一郎	木島 善一郎	高仲 茂	高仲 茂	高仲 茂
	第7支団長	田邊 義行	田邊 義行	田邊 義行	田邊 義行	田邊 義行	田邊 義行	長島 久	長島 久	長島 久	長島 久	長島 久
	第8支団長	石井 新美	石井 新美	伯耆原 正一	伯耆原 正一	伯耆原 正一	伯耆原 正一	伯耆原 正一	伯耆原 正一	伯耆原 正一	伯耆原 正一	小出 薫之
	第9支団長	古市 喜輝	古市 喜輝	古市 喜輝	古市 喜輝	廣田 元一	廣田 元一	廣田 元一	廣田 元一	古市 正志	古市 正志	古市 正志

所属名	階級名	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
団本部	団長	目良 和夫	風間 戦一	風間 戦一	風間 戦一	風間 戦一	廣田 元一	廣田 元一	廣田 元一	廣田 元一	小高 利広	小高 利広
	副団長	風間 戦一	古市 善輝	古市 善輝	廣田 元一	廣田 元一	小高 利広	小高 利広	小高 利広	小高 利広	鈴木 治夫	鈴木 治夫
	副団長	古市 善輝	廣田 元一	廣田 元一	小高 利広	小高 利広	鈴木 治夫	鈴木 治夫	鈴木 治夫	鈴木 治夫	長谷川 秀一	長谷川 秀一
	本部長	廣田 元一	小高 利広	小高 利広	鈴木 治夫	鈴木 治夫	長谷川 秀一	長谷川 秀一	長谷川 秀一	長谷川 秀一	小高 一夫	小高 一夫
副団長（支団長）	第1支団長	秋葉 光男	田中 誠一郎	田中 誠一郎	田中 誠一郎	田中 誠一郎	佐藤 譲治	佐藤 譲治	小高 一夫	小高 一夫	武田 良夫	武田 良夫
	第2支団長	吉井 和敏	山田 清	山田 清	山田 清	山田 清	糸久 佳伸	糸久 佳伸	糸久 佳伸	糸久 佳伸	糸久 佳伸	糸久 佳伸
	第3支団長	小高 利広	富田 保行	富田 保行	富田 保行	田中 俊雄	田中 俊雄	田中 俊雄	田中 俊雄	田中 俊雄	小高 教光	小高 教光
	第4支団長	市原 善一	小林 正満	小林 正満	小林 正満	小林 正満	小林 正満	小林 正満	伊原 嘉宏	伊原 嘉宏	田中 勝	田中 勝
	第5支団長	吉野 實	吉野 實	吉野 實	米倉 義史	米倉 義史	米倉 義史	米倉 義史	若菜 文雄	若菜 文雄	米倉 健雄	米倉 健雄
	第6支団長	高仲 茂	酒井 雅行	酒井 雅行	長谷川 秀一	長谷川 秀一	矢部 順	矢部 順	矢部 順	矢部 順	矢部 順	矢部 順
	第7支団長	長島 久	今関 勝巳	今関 勝巳	齋藤 肇	齋藤 肇	齋藤 肇	齋藤 肇	田邊 茂	田邊 茂	田邊 茂	田邊 茂
	第8支団長	鈴木 治夫	鈴木 治夫	鈴木 治夫	池座 輝美	池座 輝美	池座 輝美	池座 輝美	池座 輝美	池座 輝美	池澤 孝夫	池澤 孝夫
	第9支団長	古市 正志	古市 正志	古市 正志	古市 正志	古市 正志	古市 正志	古市 正志	古市 正志	古市 正志	古市 正志	横山 三喜男

所属名	階級名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団本部	団長	小高 利広	小高 利広	鈴木 治夫	鈴木 治夫	小高 一夫	小高 一夫	長谷川 秀一	長谷川 秀一	田邊 茂	田邊 茂	関野 富男
	副団長	鈴木 治夫	鈴木 治夫	長谷川 秀一	長谷川 秀一	長谷川 秀一	長谷川 秀一	田邊 茂	田邊 茂	関野 富男	関野 富男	城竹 貞治
	副団長	長谷川 秀一	長谷川 秀一	小高 一夫	小高 一夫	田邊 茂	田邊 茂	関野 富男	関野 富男	城竹 貞治	城竹 貞治	小高 一宏
	本部長	小高 一夫	小高 一夫	田邊 茂	田邊 茂	関野 富男	関野 富男	城竹 貞治	城竹 貞治	小高 一宏	小高 一宏	布留川 浩一
副団長（支団長）	団副本部長					城竹 貞治	城竹 貞治	小高 一宏	小高 一宏	布留川 浩一	布留川 浩一	村杉 貴博
	第1支団長	武田 良夫	武田 良夫	武田 良夫	酒井 利男	酒井 利男	酒井 利男	酒井 利男	室川 欣則	室川 欣則	室川 欣則	室川 欣則
	第2支団長	糸久 佳伸	糸久 佳伸	小高 一宏	小高 一宏	小高 一宏	小高 一宏	麻生 政明	麻生 政明	麻生 政明	麻生 政明	片岡 祥成
	第3支団長	嶋田 正男	嶋田 正男	鶴澤 一裕	鶴澤 一裕	鶴澤 一裕	布留川 浩一	布留川 浩一	布留川 浩一	山本 博章	山本 博章	鬼原 正幸
	第4支団長	田中 繁男	田中 繁男	福邊 克吉	福邊 克吉	福邊 克吉	福邊 克吉	峯島 優	峯島 優	小関 一真	小関 一真	小関 一真
	第5支団長	米倉 健雄	米倉 健雄	関野 富男	関野 富男	市原 英二	時田 哲男	時田 哲男	小高 喜仁	小高 喜仁	石井 充生	石井 充生
	第6支団長	長谷川 隆夫	長谷川 隆夫	古山 浩司	古山 浩司	古山 浩司	古山 浩司	村杉 貴博	村杉 貴博	村杉 貴博	村杉 貴博	御園生 義和
	第7支団長	田邊 茂	田邊 茂	野口 昇	野口 昇	野口 昇	野口 昇	野口 昇	内山 正剛	内山 正剛	内山 正剛	内山 正剛
	第8支団長	池澤 孝夫	池澤 孝夫	城竹 貞治	城竹 貞治	永峰 康次	永峰 康次	永峰 康次	永峰 康次	佐々木 隆夫	佐々木 隆夫	佐々木 隆夫
	第9支団長	横山 三喜男	横山 三喜男	横山 三喜男	横山 三喜男	高橋 正彦	高橋 正彦	高橋 正彦	高橋 正彦	吉野 英樹	吉野 英樹	吉野 英樹

長生郡市消防顧問会 会員名簿

No.	元職名	所 属	氏 名	顧問会役職
1	元消防団長	第1支団	目良 和夫	相談役
2	元支団長	第1支団	田中誠一郎	会 計
3	元支団長	第1支団	武田 良夫	
4	元消防団長	第1支団	小高 一夫	
5	元支団長	第1支団	酒井 利男	
6	元支団長	第2支団	吉井 和敏	理 事
7	元支団長	第2支団	糸久 佳伸	
8	前支団長	第2支団	麻生 政明	
9	元副団長	第3支団	常泉 健一	
10	元支団長	第3支団	森田 眞司	
11	元支団長	第3支団	田中 俊雄	理 事
12	元消防団長	第3支団	小高 利広	監 事
13	元支団長	第3支団	鵜澤 一裕	
14	前支団長	第3支団	山本 博章	
15	元支団長	第5支団	田中 義光	会 長
16	元支団長	第5支団	若菜 文雄	
17	元支団長	第5支団	市原 英二	
18	元支団長	第5支団	時田 哲男	
19	元支団長	第5支団	小高 喜仁	
20	元支団長	第6支団	高仲 茂	理 事
21	元支団長	第6支団	酒井 雅行	
22	元支団長	第6支団	矢部 順	
23	元支団長	第6支団	長谷川隆夫	
24	元支団長	第7支団	齊藤 肇	理 事
25	前消防団長	第7支団	田邊 茂	
26	元支団長	第8支団	池座 輝美	理 事
27	元支団長	第8支団	池澤 孝夫	
28	元消防団長	第8支団	鈴木 治夫	
29	元支団長	第8支団	永峰 康次	
30	元団本部長	第9支団	加藤 元久	
31	元副団長	第9支団	古市 善輝	
32	元消防団長	第9支団	廣田 元一	副会長
33	元支団長	第9支団	古市 正志	
34	元支団長	第9支団	横山三喜男	

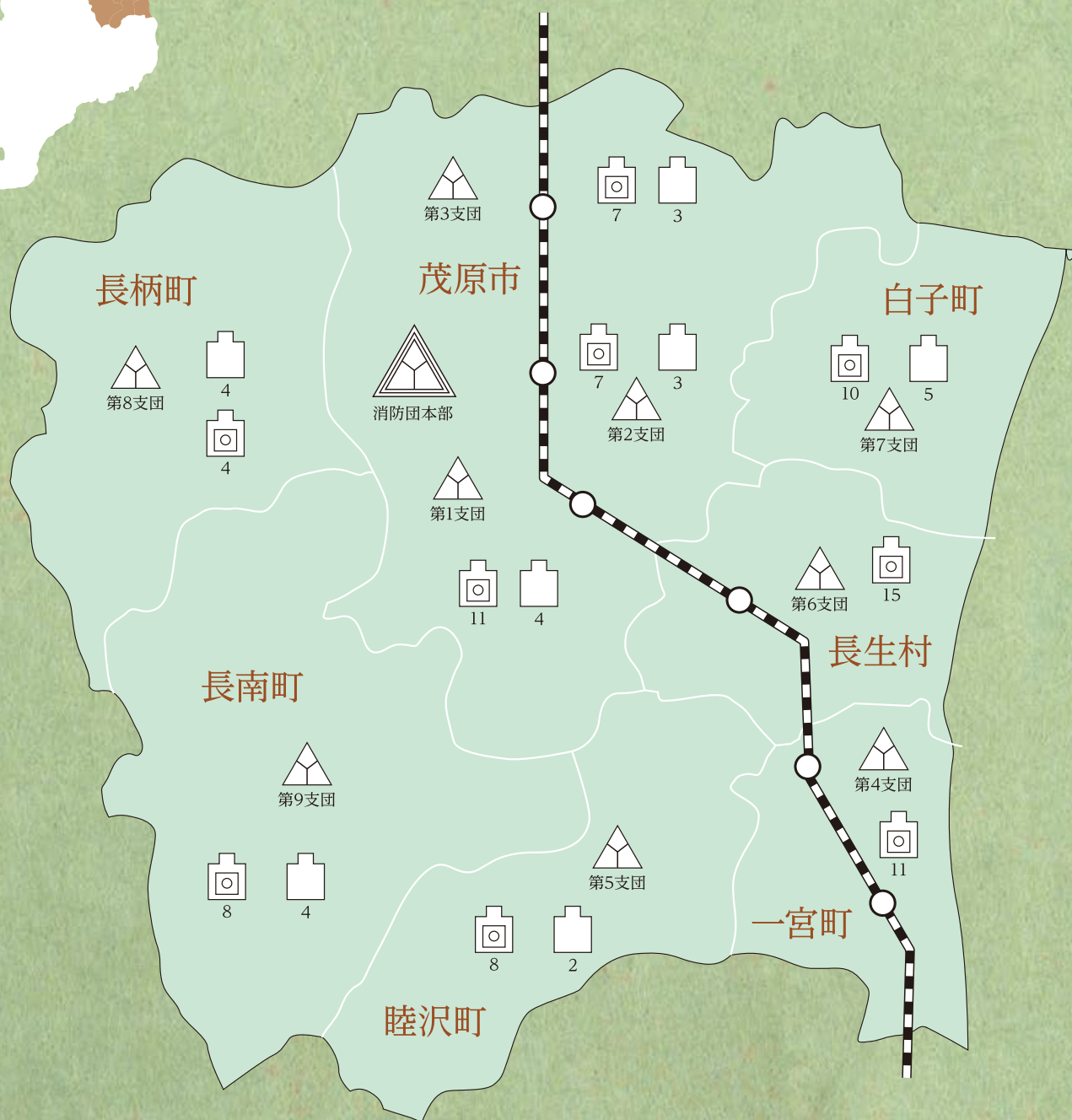
No.	元職名	所 属	氏 名	顧問会役職
35	元支団長	第9支団	高橋 正彦	
36	元消防長	消防本部	小出 篤則	
37	元本部次長	消防本部	森 茂	
38	元消防長	消防本部	川崎 功	
39	元副参事	消防本部	麻生 功	
40	元参事	消防本部	山崎 貞治	
41	元消防長	消防本部	麻生 佳秋	副会長
42	元本部次長	消防本部	根本 昭一	監 事
43	元副参事	消防本部	高橋 利光	会 計
44	元副参事	消防本部	村松 仁	
45	元副参事	消防本部	富澤 勝彦	
46	元消防長	消防本部	高橋 茂	
47	元副参事	消防本部	伊丹 茂雄	
48	元副参事	消防本部	相澤 正孝	
49	元消防長	消防本部	佐久間重光	
50	元副参事	消防本部	白井 孝一	
51	元消防長	消防本部	高山 稔治	
52	元副参事	消防本部	小川 清隆	
53	元消防長	消防本部	東條 秀明	
54	元消防長	消防本部	丸 幸夫	
55	元副参事	消防本部	大和久 武	
56	元消防長	消防本部	金井 浩司	
57	元副参事	消防本部	齊藤 力一	
58	前消防長	消防本部	中村 希一	
59	消防団長	第5支団	関野 富男	参 与
60	副団長	第8支団	城竹 貞治	参 与
61	副団長	第2支団	小高 一宏	参 与
62	団本部長	第3支団	布留川浩一	参 与
63	団副本部長	第6支団	村杉 貴博	参 与
64	消防長	消防本部	秋葉 和彦	参 与
65	次長	消防本部	丸 宏史	参 与
66	副主幹	消防本部	長谷川哲也	事務局
67	主査	消防本部	小高 伸也	事務局

令和7年3月14日現在

昭和50年4月 長生郡市退職消防団長会発足

昭和62年4月 組織改革で分団制から支団制に変更

管内位置図



凡例



消防団本部



消防支団本部



ポンプ自動車
(配車台数)



小型ポンプ積載車
(配車台数)

長生支部消防操法大会 優勝支団一覽表

		千葉県大会	ポンプ車操法の部	小型ポンプ操法の部
昭和57年度	(第1回)	第18回県大会出場	第9分団第3部第3班	第6分団第1部第3班
昭和58年度	(第2回)	第19回県大会出場	第9分団第3部第3班	第7分団第4部第4班
昭和59年度	(第3回)	第20回県大会出場	第3分団第2部第3班	第6分団第2部第2班
昭和60年度	(第4回)	第21回県大会出場	第8分団第3部第1班	第9分団第3部第1班
昭和61年度	(第5回)	第22回県大会出場	第9分団第3部第3班	第6分団第2部第4班
昭和62年度	(第6回)	第23回県大会出場	第3支団第2分団第3部	第4支団第3分団第1部
昭和63年度	(第7回)	第24回県大会出場	第9支団第3分団第3部	第5支団第2分団第3部
平成元 年度	(第8回)	第25回県大会出場	第9支団第2分団第1部	第6支団第3分団第3部
平成 2年度	(第9回)	第26回県大会出場	第9支団第3分団第3部	第3支団第1分団第3部
平成 3年度	(第10回)	第27回県大会出場	第9支団第3分団第3部	第3支団第1分団第3部
平成 4年度	(第11回)	第28回県大会出場	第9支団第3分団第3部	第3支団第1分団第3部
平成 5年度	(第12回)	第29回県大会出場	第9支団第3分団第3部	第5支団第2分団第3部
平成 6年度	(第13回)	第30回県大会出場	第9支団第3分団第3部	第4支団第3分団第1部
平成 7年度	(第14回)	第31回県大会出場	第8支団第2分団第1部	第6支団第2分団第4部
平成 8年度	(第15回)	第32回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第6支団第1分団第5部
平成 9年度	(第16回)	第33回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第3支団第1分団第3部
平成10年度	(第17回)	第34回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第5支団第2分団第3部
平成11年度	(第18回)	第35回県大会出場	第9支団第3分団第3部	第6支団第1分団第5部
平成12年度	(第19回)	第36回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第6支団第1分団第5部
平成13年度	(第20回)	第37回県大会出場	第9支団第3分団第1部	第4支団第3分団第1部
平成14年度	(第21回)	第38回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第2支団第1分団第1部
平成15年度	(第22回)	第39回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第6支団第1分団第5部
平成16年度	(第23回)	第40回県大会出場	第9支団第3分団第1部	第6支団第1分団第5部
平成17年度	(第24回)	第41回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第6支団第1分団第5部
平成18年度	(第25回)	第42回県大会出場	第9支団第3分団第1部	第2支団第1分団第1部
平成19年度	(第26回)	第43回県大会出場	第9支団第3分団第1部	第6支団第1分団第5部
平成20年度	(第27回)	第44回県大会出場	第9支団第3分団第1部	第2支団第1分団第1部
平成21年度	(第28回)	第45回県大会出場	第9支団第3分団第1部	第6支団第1分団第5部
平成22年度	(第29回)	第46回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第6支団第2分団第4部
平成23年度	(第30回)	第47回県大会出場	中止	中止
平成24年度	(第31回)	第48回県大会出場	第9支団第3分団第1部	第5支団第2分団第1部
平成25年度	(第32回)	第49回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第3支団第1分団第3部
平成26年度	(第33回)	第50回県大会出場	第2支団第1分団第3部	第3支団第1分団第3部
平成27年度	(第34回)	第51回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第5支団第2分団第1部
平成28年度	(第35回)	第52回県大会出場	第2支団第1分団第3部	第5支団第2分団第2部
平成29年度	(第36回)	第53回県大会出場	第5支団第3分団第3部	第1支団第4分団第3部
平成30年度	(第37回)	第54回県大会出場	第9支団第3分団第3部	第6支団第1分団第5部
令和 元 年度	(第38回)	第55回県大会出場	第8支団第4分団第1部	第5支団第2分団第2部
令和 2年度	(第39回)	第56回県大会出場	中止	中止
令和 3年度	(第40回)	第57回県大会出場	中止	中止
令和 4年度	(第41回)	第58回県大会出場	第5支団第3分団第3部	第6支団第3分団第1部
令和 5年度	(第42回)	第59回県大会出場	第1支団第3分団第1部	第1支団第4分団第3部
令和 6年度	(第43回)	第30回全国選考会		第5支団第2分団第2部

編集後記

長生郡市広域市町村圏組合消防団 発足50周年記念誌

この度、長生郡市広域市町村圏組合消防団発足50周年という節目の年を迎えるにあたり、記念誌を作成いたしました。昭和49年の発足から50年を振り返りますと、地震・火災・水害・竜巻など非常に大きな災害に見舞われてきたと思います。現在の消防団の礎を築いていただきました諸先輩方々は、現在と比べると装備や資機材等が十分でない中、勇敢に各種災害に立ち向かい、1市5町1村の住民の安全・安心を守られてきたのだと、改めて大きな感銘を受けたところでもあります。これからも諸先輩方の培ってきた技術や精神を1人でも多くの方々に伝承していく所存でございます。最後になりますが、本誌の編集に際しまして、ご協力を賜りました皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後ともご支援、ご指導をいただきますようお願いをいたしまして、後書きとさせていただきます。

令和7年3月

編集委員 関野 富男 城竹 貞治 小高 一宏 布留川浩一
 村杉 貴博 長谷川哲也 小高 伸也 花澤 健太

長生郡市広域市町村圏組合消防団
発足50周年記念誌

- 発行日 令和7年(2025年)3月
 - 編集発行 長生郡市広域市町村圏組合消防団
千葉県茂原市茂原598番地
長生郡市広域市町村圏組合消防本部総務課内
 - 電話 0475-22-0119
 - 印刷 株式会社 マックス
-